NEXYZ.Group

2026年9月期 決算説明資料

株式会社NEXYZ.Group　東京証券取引所スタンダード4346

2026年11月16日

事業ミッションストーリー

OUR MISSION

NEXYZ.グループの使命

初期投資の壁をゼロに。

① なぜ、この事業を広げるのか

資金の壁で、企業の成長を止めないため。

高額な初期投資が壁となり、企業の成長を止めています。
その壁を取り払うことが事業の原点です。

② 実現すると、何が変わるのか

手元資金を残し「進化」を実現してもらうため。

企業が設備投資やタレント広告などを、
手元資金を残して実現する仕組みを提供しています。

③ 取り組む価値は、どこにあるのか

企業の成長で、地域経済が動く。

企業の成長は、地域経済の活性化と共にCO_2排出削減など
地球環境にも貢献します。

NEXYZ.Group事業セグメント

エンベデッド・ファイナンス事業

NEXYZ.

設備投資の壁をゼロに。



メディア・プロモーション事業

Brangista

プロモーションの壁をゼロに。



NEXYZ.Group

2026年9月期
決算発表

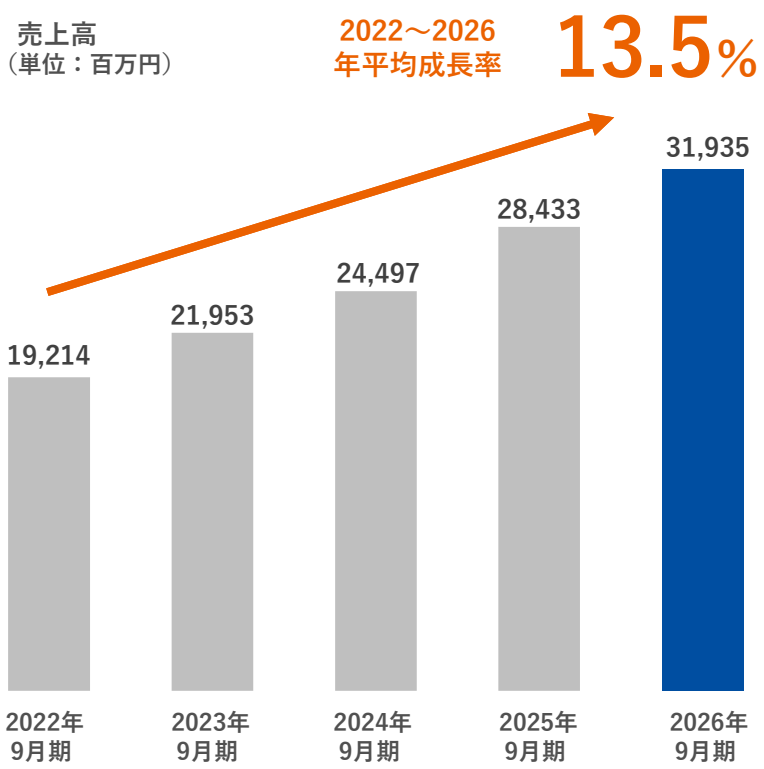
2026年9月期 通期連結業績

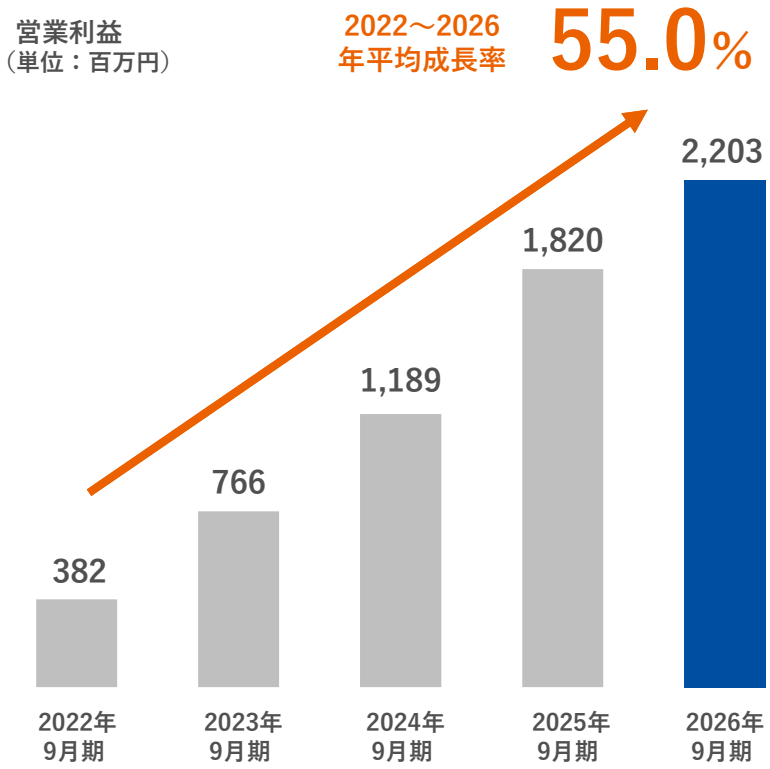
2026年9月期 連結業績サマリー

NEXYZ.Group

（単位：百万円）	2025年9月期 実績	2026年9月期 実績	前年比 増減率
売上高	28,433	31,935	+12.3%
営業利益	1,820	2,203	+21.1%
経常利益	1,742	1,548	−11.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	922	934	+1.3%

5期連続の増収増益、営業利益過去最高





NEXYZ.Group

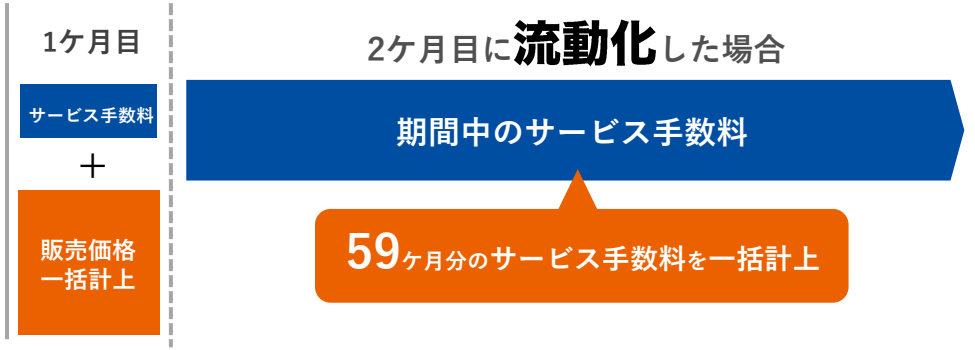
2026年9月期
決算発表

利益の最大化へ向けた
流動化の方針変更と引当金の改善

NEXYZ.Group

① 一括計上

債権流動化を行うことで、
サービス手数料を一括で計上



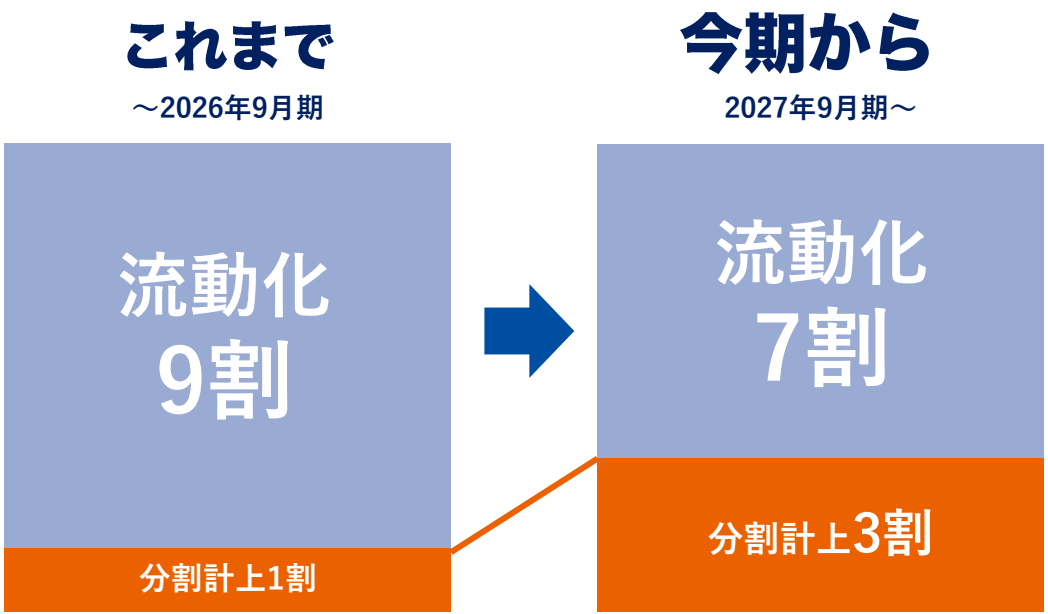
② 分割計上（ストック型）

設備の販売価格分は一括で、
サービス手数料は、
期間中（60ケ月分）分割で計上



債権流動化方針

流動化：自己保有の比率を 9：1 から 7：3 へ



自己保有比率
1割→3割へ
高める

流動化をひかえ保有するリース債権を増やし、サービス料をストック収益として積み上げる

金利環境の背景

金融機関の金利上昇により、流動化のコストが増加

流動化金利の推移



これまでどおりの流動化を行った場合

約10億円の

流動化コストが＋でかかる

金利の上昇局面では、手数料負担が増加するためバランスを考慮

利益の余力①

今期末までにリース債権残高65億円を目指し
潤沢な手元資金を基に、ストック収益を積み上げていく。

結論

今期から、流動化をひかえリース債権を
自己保有し、長期的な利益を確保

手元資金
60億円

流動化していないリース債権残高（想定）

2027年9月末 **65**億円



流動化した場合の利益 **19.2**億円

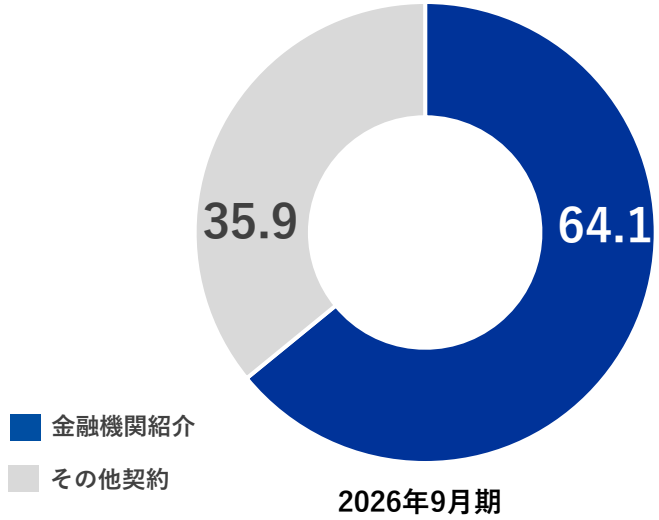
貸倒率が低い金融機関経由の契約を ひきつづき拡大

NEXYZ.Group

ネクシーズZERO提携パートナーの拡大

販売経路比率（単位：%）

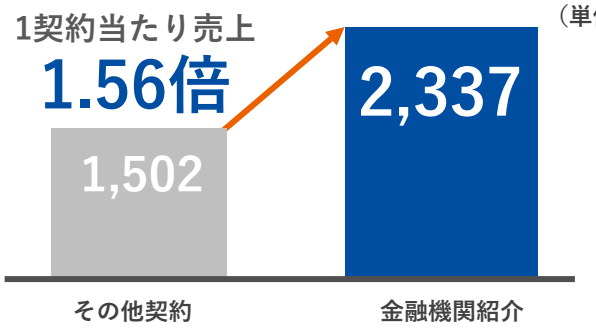
6割以上が金融機関



2026年9月期

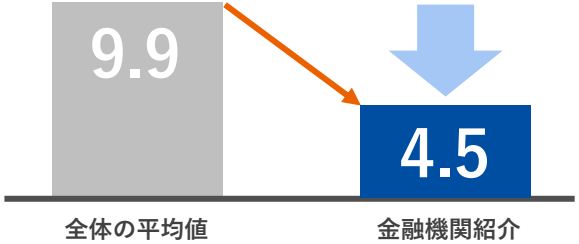
1契約当たり売上
1.56倍

（単位：千円）



トータル5年間の
貸倒率が
半分以下

（単位：%）



利益の余力② | 貸倒率低下による引当金の改善

引当金とは？

将来発生する可能性が高い特定の費用や損失に備えるために
あらかじめ当期費用として繰り入れて準備しておく見積もり金額

現在のトータル5年間の貸倒率 **9.9%** を元に引当金を計算

獲得総債権
約950億円
（直近5年間）
× 貸倒率 ＝ 引当金

貸倒率 が1%減るだけで
約9.5億円の **引当金** が戻入
＋
さらに、今後の獲得分の引当金にも軽減効果が大きく影響。

NEXYZ.Group

2026年9月期
決算発表

2027年9月期 業績予想（連結）

ストック収益を確保しながら

① 目先の業績は、落とさない

② 年間配当30円を継続

2027年9月期 業績予想（連結）

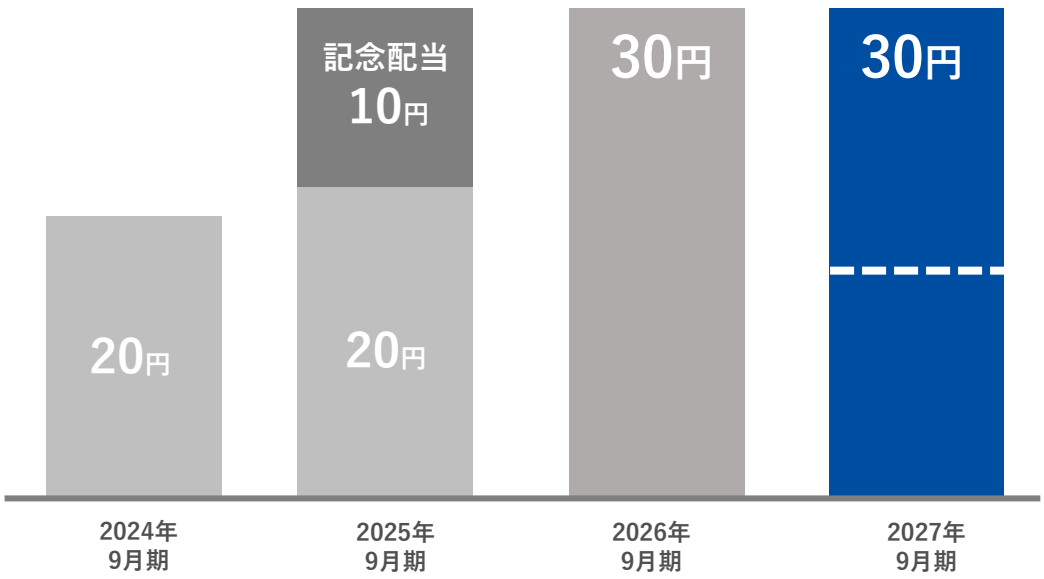
（単位：百万円）	2026年9月期 実績	2027年9月期 予想	前年比 予想増減率
売上高	31,935	34,500	+8.0%
営業利益	2,203	2,500	+13.4%
経常利益	1,548	2,250	+45.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	934	1,000	+7.0%

金利上昇を受けて流動化をひかえ、リース債権を自己保有（ストック収益化）しながら、増収増益を継続。

配当について

2027年9月期も3期連続 30円配当を見込む。

配当推移



中間
15円

期末
15円

2027年9月期
配当予想
30円

NEXYZ.Group

エンベデッド・
ファイナンス事業

エンベデッド・ファイナンス事業

これまでの一括購入や、リースではない
新しい設備投資の仕組みを作った。



エンベデッド・ファイナンス事業
「ネクシーズZERO」

設備導入支援「ネクシーズZERO」

総投資予算
1,000億円以上

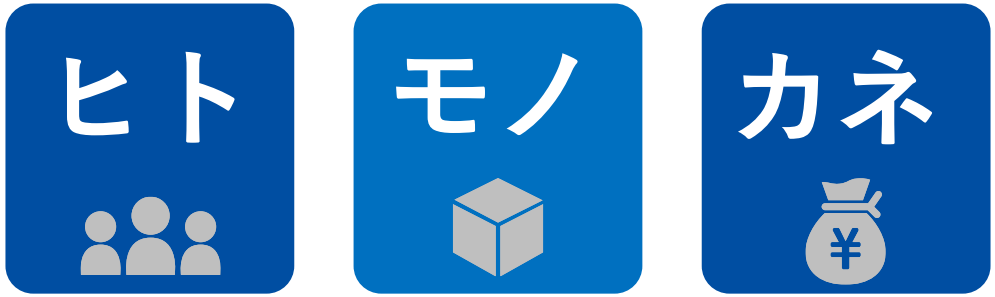
LED照明など最新設備を
初期投資0円で提供

資金調達 ＋ 商材 ＋ 保証

- ☑ 与信枠不要
- ☑ 5年間の契約終了後 所有権移転
- ☑ 再リース不要

ミッション

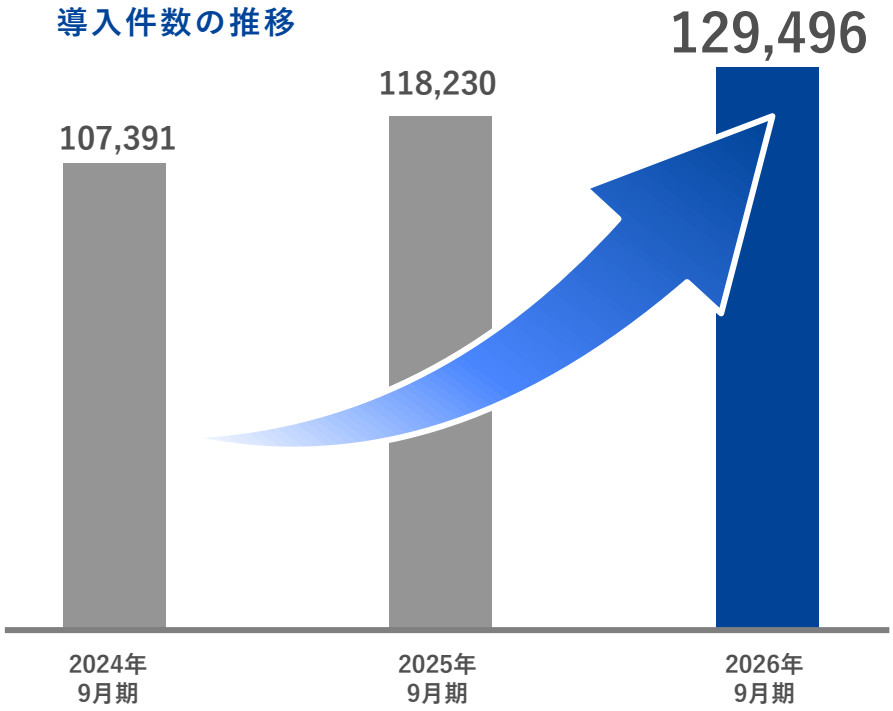
企業の成長の壁をなくし、日本経済を活性化



出来ない理由をゼロに。
お客様の「変えたい」を「変えられる」に。

壁をなくし日本経済を活性化

ネクシーズZERO導入件数の推移



導入件数

129,496件

コンビニの数の**2倍**以上の規模



大規模施設・公共施設等の導入実績

自治体・公共施設

全国 **540**件導入

※2026年9月末時点入札案件

入札勝率 **80%**以上

※2021年9月期から2025年9月期までの実績



沖縄米軍基地にも
最新設備を導入

空港設備

羽田・成田空港



大規模施設・公共施設等の導入実績

NEXYZ.Group

国立大学・私立大学・短期大学

全国 **22**大学



国立大学法人
東京科学大学
M&Dタワー
（旧 東京医科歯科大学）







国立大学法人 福井大学 図書館 ／ 東海大学 熊本キャンパス ／ 関西福祉大学 他

病院・介護施設

全国 **1,588**施設



木下グループ
1,105施設





沖縄県立中部病院 ／ 愛育会 福田病院 ／ 社団明心会あおば病院 他

ネクシーズZEROの社会的評価

環境貢献商品として、最高の評価

2021年・2025年に証券化を実施

「ネクシーズZERO」の信頼性が
大手格付け会社から認められ、証券化を実現

米格付け機関
ムーディーズ

世界初※ World's first

Aaa(sf)

※当社流動化商品が、エネルギー消費を抑え、地球環境に貢献するLED照明を主な対象としたリース債権の証券化商品として、ムーディーズSFジャパン株式会社より、世界初となる最高格付けランク「Aaa（sf）」を取得。さらに国内初となる株式会社格付投資情報センターより、証券化グリーンローン評価（セカンドオピニオン）も取得しています。

ECO FIRST

2020年 環境大臣より認定
エコ・ファースト企業

販売した省エネ設備によるCO_2排出削減量累計

276万CO_2-t 突破



環境トップランナー企業として貢献

2020年10月21日
小泉進次郎 環境大臣との認定式

3つの拡大施策

① 50万点以上から様々な商材を組み合わせて提案する
設備戦略プランニング

② AI導入による超効率化・金融機関提携の最大化
独自AI「ZEROナビ」

③ 初の海外へ展開
ネクシーズZEROをオーストラリア市場へ

施策①

200以上のサプライヤー、50万点以上から様々な商材を組み合わせて提案

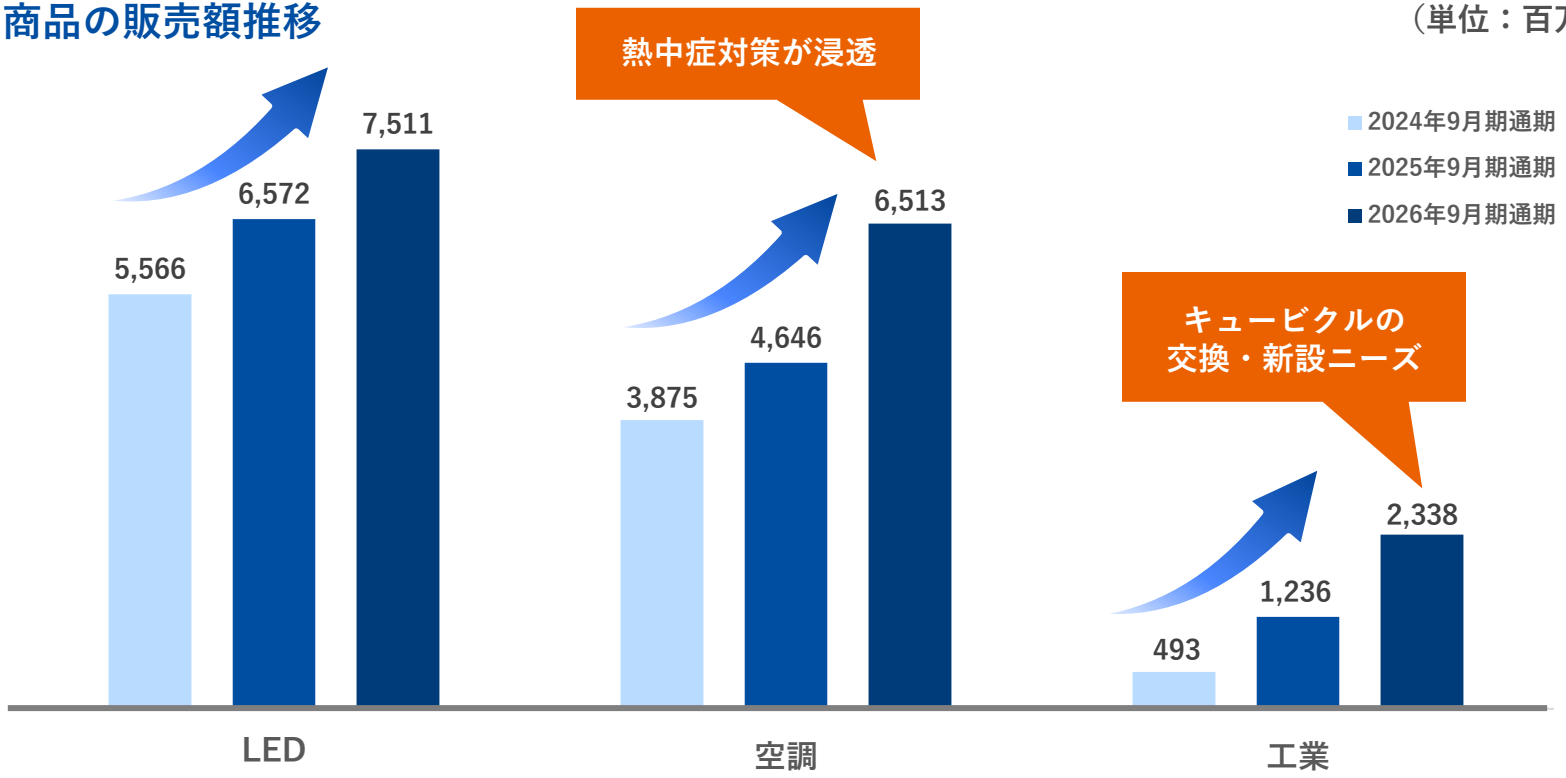


施策①

200以上のサプライヤー、50万点以上から様々な商材を組み合わせて提案

注力商品の販売額推移

（単位：百万円）



施策②

AI導入による超効率化・金融機関提携の最大化

ネクシーズZERO提携パートナー



銀行・信用金庫との
提携数

177





提携金融機関店舗

11,922店以上

そろって顧客訪問

金融機関の取引先企業

店舗・オフィス・工場・医療・学校...etc

AI導入による超効率化・金融機関提携の最大化

営業支援AI「ZEROナビ」

見積作成補助 ▶速度と精度の向上
顧客分析 ▶有望顧客層を明確化
売上予測 ▶複合データから精度向上
商談記録の自動化 ▶入力負担の軽減
申請内容チェック ▶差戻しを削減
案件重複チェック ▶確認漏れ削減
商談申請 ▶データベース自動反映

書類ペーパーレス化 ▶コスト削減
在庫管理自動化 ▶作業効率アップ
発注・発送の自動化 ▶作業効率アップ
下請業者分析 ▶スムーズな社内共有
売上・原価集計自動化 ▶算出が明確に
営業担当成績集計 ▶算出が明確に
ヘルプデスクボット ▶即時対応実現

就業ルールAIチャットボット
▶質問即答、担当工数ゼロ化
新卒採用状況分析 ▶データの明確化
契約書レビュー支援 ▶作業効率アップ
議事録作成補助 ▶作成フロー軽減
経費の承認自動化 ▶作業効率アップ
仕訳の自動反映 ▶作業効率アップ

※一部のみ記載

123のAIエージェントが稼働

AIで「手作業」をゼロに。

JAPAN AI社と共同開発し、36項目の業務工程でAI活用を開始。

実績　テスト運用

社員90名・20日の稼働

月間約 **3,000** 時間超※1

業務時間を削減

開発中　機能拡張

AIで自動化する
業務工程を拡張

36 項目

見積作成
15分に短縮

今後　全社展開

AI36項目完成・
営業部門 800名

年間約 **14.1万**※2

1人当たり
月約15時間削減

※1 ZEROナビをはじめとする全社のAI活用（CHAT・AIエージェント）の利用回数を標準係数で換算した社内推計。

※2 36項目完成・全社展開後の想定で、ZEROナビの他機能による効果を含む。将来の見通しであり、実現を保証するものではありません。

NEXYZ.Group

初の海外展開 2027年よりオーストラリアへ



現地向けサービスwebサイト（イメージ）

拠点

シドニー



社名 NEXYZ.Group Australia Pty Ltd

設立 2026年5月15日

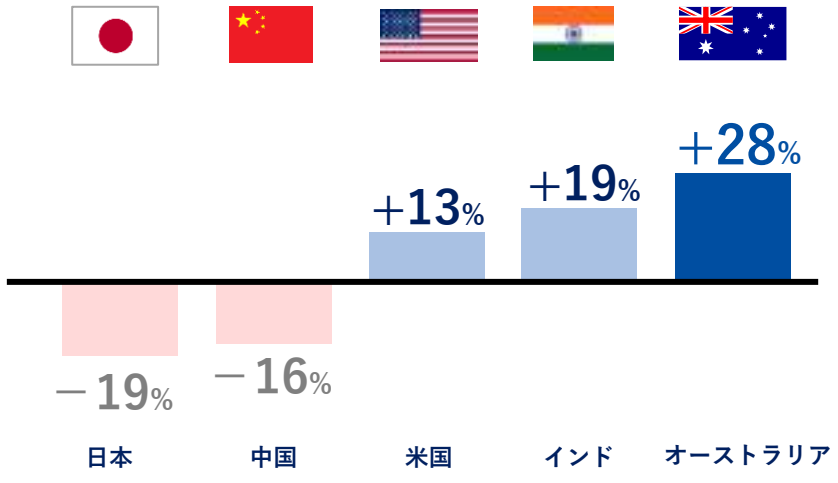
株主 株式会社NEXYZ.Group（100%）

国内で磨いた初期投資0円を、成長市場のオーストラリアへ

NEXYZ.Group

オーストラリアを海外初進出国に選んだ4つの理由

主要国の予想人口増減率（2022年→2055年）



出所：国際連合「World Population Prospects 2024」のデータを基に当社作成
経済成長率：IMF World Economic Outlook（実質GDP、2000～2024年）
政策：豪州 気候変動法（Climate Change Act 2022）ほか

予想人口増加率
2022年→2055年
日本は－19%
+28%

経済成長
2000年以降 年平均成長率
+2.7%

政策の追い風
国策としての脱炭素
エネルギー転換

事業親和性
設備投資と手元資金の両立
新店舗・切替需要

NEXYZ.Group

メディア・
プロモーション事業

メディア・プロモーション事業

成長企業と新しい日本をつくる。

ACCEL JAPAN

写真・動画素材数※1 No.1

累計契約社数 1,500件突破※2

タレント広告の使いやすさ※1 No.1

経済産業省 中小企業庁が採用



メディア・プロモーション事業 ｜ ACCEL JAPAN

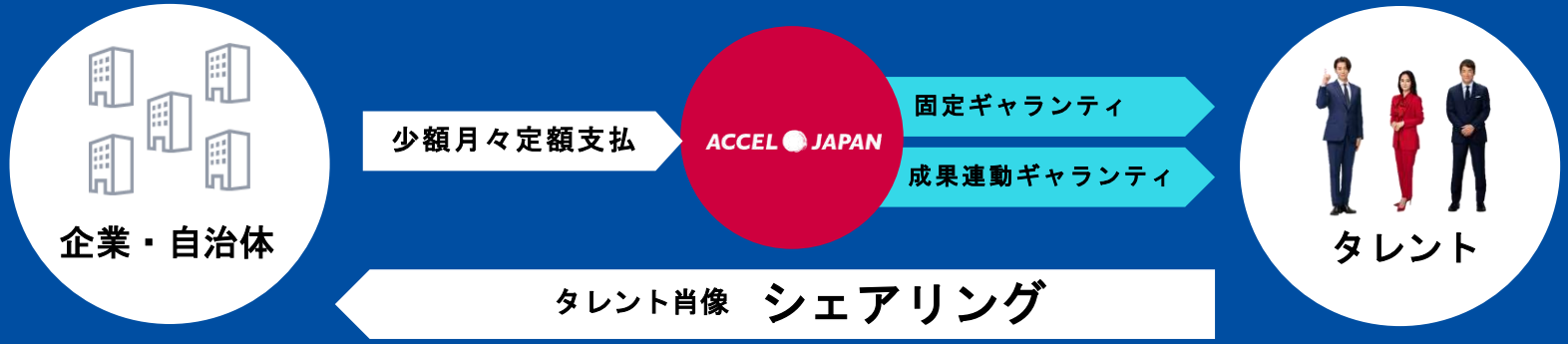
企業の魅力を、「選ばれる力」に変える。

利益をけん引

タレント続々追加

累計契約件数 1,586件

初期費用 0円・月々定額　企業とタレント、双方に還元する仕組み



初期費用 0円・月額定額
従来コストの 1/10 以下

「旅色」

予約機能が本格稼働。
記事で旅行プラン・宿・グルメ・レジャー情報を取得し、そのまま予約。

読んで、そのまま予約できる旅行メディア。

宿泊施設の契約拡大で、利用者の利便性と満足度を高める。

13,000件超

オーガニック・AI検索に強い
旅行プラン＆旅行記事

約20年

メディア運営実績



350名超

著名俳優起用

7,000件超

宿・飲食店などの掲載



「旅色」

創刊 約20年の旅行メディア「旅色」。
予約とふるさと納税で、「読む」から「行く」までをつなぐ。

旅色は、地域の魅力を「訪れる理由」に変える。

現在

読んで
予約して
訪れる



旅行プラン・宿・グルメ・レジャーの記事から、そのまま宿泊予約が可能。

2027年1月～

その場で使える
ふるさと納税
サービス開始



現地決済型ふるさと納税サービス
「ふるさtoらべる」。
旅先で寄付し、宿泊・利用料の支払いにも。

「旅色」

NEW!

ふるさと納税サービスに参入。
その場で使える、現地決済型サービス。

ふるさtoらべる

現地決済型ふるさと納税
「ふるさtoらべる」



その場で
ふるさと納税
電子クーポンを発行





電子クーポン提示で
宿泊・利用料が
支払える



日本旅館協会提携済

すでに全国の
宿泊施設・ゴルフ場
などで利用可能

700件

参加自治体 86自治体

私たちの存在価値

「 月額負担も含めて、お客様の経営がどう良くなるかのご提案になっているか 」

初期投資ゼロの仕組みと、設備導入を支える力で、お客様の「変えたい」を「変えられる」に。一社一社の経営を良くし、そこで働く人と、その先にいる人の笑顔を増やす。
地域経済の活性化と、地球環境への貢献を両立する。



私たちのミッション

初期投資の壁をなくし、事業者の挑戦と成長を支える。

NEXYZ.Group

IP×AI
知的財産インフラ

新事業について

IP×AIをつなぐ知的財産インフラ

KAGAMI AI™

生成AI時代、
日本のIPを世界へ。

AI時代の創造価値を再設計し、
IPとAIの新しい共生を実現します。

内閣府にて

AI推進法 が施行

2026年6月12日

高市早苗首相を本部長とする

知的財産推進計画2026 を決定

主なポイント

- 生成AIと知財保護
- 海外での権利侵害への対応
- 知的財産の 創造 保護 活用 クールジャパン戦略のフォローアップ
- 日本成長戦略への連動

NEXYZ.Group

世界IPランキング ｜ 日本 vs ディズニー

4,320億ドル
（約67兆円）

- ポケットモンスター
- ハローキティ
- アンパンマン
- スーパーマリオブラザース
- ドラゴンボール
- ガンダム
- ワンピース
- 少年ジャンプ作品群 ほか

日本IP

3,590億ドル
（約55兆6,000億円）

- くまのプーさん
- ミッキーマウス
- スターウォーズ
- ディズニープリンセス
- スパイダーマン
- カーズ
- トイ・ストーリー
- アナと雪の女王 ほか

ディズニーIP

日本IPの総売上は ディズニーIPを 730億ドル 上回る。

（約11兆円）

出所：Visual Capitalist『The World's Top Media Franchises by All-Time Revenue』
作成：KAGAMIAI Holdings

※Marvel 関連IP は『Spider-Man』『Marvel Cinematic Universe』等の個別フランチャイズとして集計されるため、本図ではSpider-Man をディズニー側に計上しています

“Fair Use” から “Fair Pay” へ。

生成AIの登場で、IPの使われ方と価値の還元の方法が大きく変わろうとしています。
権利者に正当な対価が届く新しい世界標準を、日本からつくります。

01 権利を確認できない

学習・生成・二次利用の条件がIPごと・AI企業ごとに異なり、照会先も判断基準も統一されていない。

02 出所を追えない

生成物がどのIPに由来し、どこでどう使われたのか。記録の共通仕様がなく、検証も対価の算定もできない。

03 対価が還元されない

無断利用が続き、権利者に正しく利益が戻らない。対立構図のままでは、どちらの利益にもならない。

KAGAMIAIは、AI企業とクリエイターが
安心・安全に日本IPを使えるライセンスインフラをつくります。

IP AI
JAPAN IP.AI Co-Creation Association

一般社団法人 日本IP.AI共創協会 を設立

日本のIPと世界のAIをつなぎ、AI時代の共創関係を構築。

世界へのアプローチ

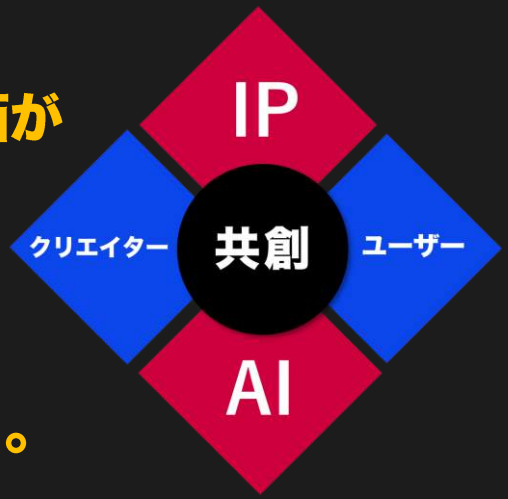
世界IP.AI共創宣言賛同への「署名」活動中

合計時価総額66兆円を超える
グローバルAI企業群が、
日本IPの正規ライセンス市場構築に、
ご賛同いただいています。

四方よしの「共創」へ

AI創作の対価が権利者へ、

IPとAIが共に広がる循環をつくる。



JAPAN Co-Creation IP AI Conference

2026年 9月11日
日本IP.AI共創カンファレンス開催

国内外のAI企業・IPホルダー・クリエイター255名が集い、
テレビ・Yahoo!ニュース・新聞など15以上のメディアが報道。

MINIMAX PaleBlueDot.AI runway

Higgsfield MIXI Krea HeyGen



ライセンスインフラ

全てのAIとIPのための　IP利用ゲート Kagami Gate

IP

人間の創造的活動が
生み出した
財産価値を持つ情報

マンガ/アニメ/ゲーム/
キャラクター/タレント
アーティスト/小説/脚本/
声/映画/ドラマ
世界観/特許・商標 等

複雑な権利処理を
Kagami Gate が解決

1. **ライセンス基盤**
2. **監視・監修**
3. **自動分配**

AI

LLM
AIエージェント
プラットフォーム企業

※提携済・交渉中企業一覧

Google OpenAI ANTHROPIC
Alibaba PixVerse ZHIPU AI MINIMAX
FREEPIK runway Adobe Lovart
CapCut Canva HeyGen amazon
NETFLIX Tencent X Meta
YouTube TikTok bilibili iQIYI

プレスリリース

2026年6月11日 リリース

AIとIPをつなぐ世界標準インフラ
「Kagami Gate（カガミゲート）」発表



2026年6月12日 リリース

『キャプテン翼』×「PixVerse」
ワールドカップ開幕に合わせ実装検証



Kagami Gate | PixVerse | CAPTAIN TSUBASA

世界中でクリエイティブな
動画が生まれました。









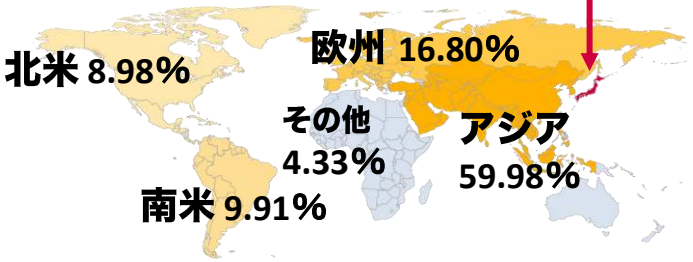
Kagami Gate ワールドカップ開催に合わせた45日間のPoC検証結果

・参加クリエイター **126,360人**

・公式IPによる生成 **329,314件**

・地域別の生成比率 **195以上の 国・地域で生成**

日本国内は1%未満



基準違反を検出・削除

総生成数の約0.14%

451件

違反を生ませない仕組みを作った

PoCで検証できたこと

生成のコントロール

1	権利者が利用ルールを定める	公式IPとして提供する世界観・表現の範囲や、禁止事項をあらかじめ設定。
2	公式の創作入口を設計する	権利者監修の公式テンプレートを通じて、作品世界に沿った創作体験を提供。
3	AI上の利用を全件記録する	国・地域別で、どのテンプレートが、どれだけ使われたかを可視化。
4	基準違反を検出・削除する	生成されたコンテンツを確認し、定めた基準に反するものを検出・削除。

日本が世界で勝てるのは、

AI×IP

世界のAI企業やIPホルダー
ぞくぞく参加中。

日本のIPと世界のAI企業を、つなぐボードメンバー。



近藤 太香巳

Representative Director and Chairman

NEXYZ.Group 代表取締役社長



木村 泰宗

President and CEO

EC・IP業界で20年以上の実績



©kurigami

秋元 康

Executive Advisor

作詞家・プロデューサー



白石 徳生

Executive Advisor

㈱ベネフィット・ワン 創業者



スコット・コールマン

Executive Advisor

元Google 事業統括/Pinterest 副社長



シルヴィア・オヴィエド・ロペス

Executive Advisor

元Canva上級副社長 / Pinterest 統括責任者



外山 雅暁

Executive Advisor

外山知的財産事務所 代表弁理士



遠藤 和宏

Attorney at Law

弁護士法人COACH 弁護士



企業理念

まだない常識を、次のあたりまえに。

エンベデッド・ファイナンス事業

NEXYZ.

メディア・プロモーション事業

Brangista

地域経済と環境の好循環をつくる

NEXYZ.Group

免責事項

当社資料に含まれる歴史的事実でない記述は、NEXYZ.Group の経営計画・経営判断に基づく将来予測であり、経済情勢、法規制の変更、為替・金利動向その他多数の不確定要因により実際の業績・結果とは大きく異なる可能性があります。当社はこれら将来予測の実現を保証するものではなく、また新たな情報や将来事象を反映して本資料を随時更新・修正する義務を負うものでもありません。本資料は情報提供を目的としたものであり、当社株式等の売買を勧誘するものではありません。

株式会社NEXYZ.Groupの承諾なしに、本資料の全部または一部を引用または複製することを厳重に禁じます。